

# 泰らぎ

Vol.49  
2018年  
夏号



もとり山の紫陽花 ～デイケア外出活動にて～



温故会

温故会  
直方中村病院  
福岡県認知症医療センター  
<http://www.onkokai.jp/nakamura/>  
編集・発行 直方中村病院広報委員会



- P1 表紙・目次
- P2 松田和男看護師 講演会  
アルコール関連学会参加
- P3 【歩こう会】精神科急性期治療病棟  
【イオンへ行こう!】精神療養病棟  
【お料理教室】認知症治療病棟
- P4 平成30年度新人紹介

# 松田和男看護師 講演会

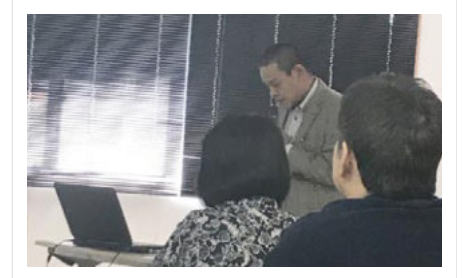
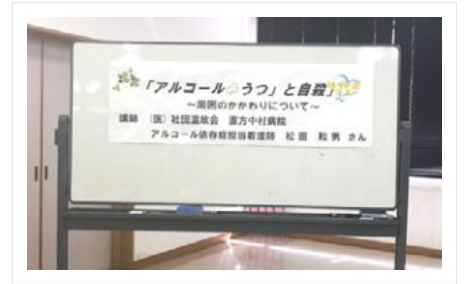


3月24日(土曜日) 嘉麻市稲築保健センターで、『アルコール・うつ・自殺』をテーマに、当院の松田和男Nsが講演をおこない、地域の民生委員の方を始め30名ほどご参加されました。

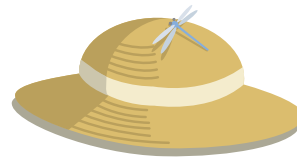
参加者の方々は真剣に聴かれており、講演の終了後にはとても勉強になったという意見も多く、具体的な対応方法などの質問も出ていました。

自殺者にうつ病の人が多くは有名ですが、うつ病の人以外ではアルコール乱用者・依存症の人に自殺者が多いとの事。また、アルコール依存症の人はそうでない人と比較すると、うつ病を発症する危険性が4倍高く、アルコール依存症とうつ病が合併するパターンもあるなど、講演の中ではこのふたつの疾患との付き合い方について説明がありました。

周りの人がアルコール依存症及びうつ病を正しく理解する事が大切であり、家族が病気について理解出来るようサポートすることが必要であるとのことでした。



# アルコール関連学会参加



第30回アルコール関連学会長崎大会に、3月の16,17日で参加してきました。会場は長崎ブリックホールです。内容を少しだけご紹介します。

## ①アディクションと家族の役割

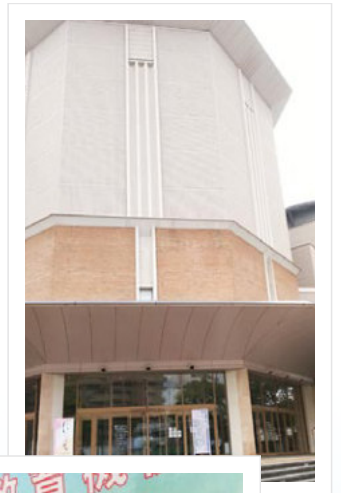
依存症の特徴としてAC(アダルトチルドレン)、困難な生活歴があり見捨てられる不安、本音と言えない等があります。その心の隙間を埋めるためにお酒やギャンブルを始め、それが良くないと気付いても強迫的に繰り返してしまいます。依存症は人との関りが上手いかずに心や体が病む病気だと理解が必要です。回復の為には自分の気持ちを大切にす、困った時は助けを求める等があり、自助グループで仲間と繋がり自分を正直に表現できる場が有効だと言われています。

## ②「依存症をもっと理解しよう。」何故、人はギャンブルにはまるのか？

ギャンブルは身体的には問題がなく医療機関に繋げる事が難しく野放し状態で、症状は悪化し借金や暴力問題で家族が疲弊してしまう。やっとのことで受診が出来ても中々回復できずに当事者・家族の苦悩が続いている現状を聞きました。民間支援団体や回復施設との連携は依存症の回復には不可欠です。

2日間、依存症について講演を聞くことができ「モノからコトへの依存症対策」とサブテーマにあるように、依存症についての関わり方がどんどんと見直されています。

今後は講演で学んだことを深く考え活かしていきたいです。また自助グループに参加して回復者の話を聞いて私達自身の日々の小さな気付きも大切にしていきたいと思いました。



# 活動のご紹介



## 歩こう会 (精神科急性期治療病棟)

5月17日の木曜日。曇ったり晴れたり空模様に、最高気温は30度。10名のメンバーで**八幡西区の畑ダム**を目指して歩きました。途中、水分補給やたばこ休憩をはさみながら、メンバー同士やスタッフと和気あいあい目的地までがんばりました。

特に「もう、俺は退院する!」と言われていた患者様が、今回一番頑張って歩かれています。

到着して食べるお弁当の美味しいこと!ゆかりご飯が疲れた体にととてもうれしく感じました。

気温湿度共に高く体力の消耗が大きかったと思いますが、体調不良者も事故もなく無事に歩こう会を終えることが出来ました。

1つの歩こう会を終えると、メンバー同士やスタッフ間にも友愛を感じ、お互いに頑張っていこうという気持ちが芽生えました。



▲はじめに歩こう会の趣旨と注意事項などを伝えて、恒例の生きのいいところを玄関前でパシャリ。OBメンバーの方がわざわざ顔を見せに来てくれるなんてうれしい出来事も。



## イオンへ行こう! (精神療養病棟)

こんにちは二病棟です!

今週の外出は直方中村病院から近場にあるイオンへ数名の患者様と行かれてました。集合場所では皆さん可愛い犬に頬が緩んでいました。

中では買い物をする人もいれば、じっくりと見て回る人もおり、とても楽しんでおられました!帰りは歩きの方と車の方に分かれて帰院されました!!

皆さん短い時間でしたが、顔が焼けていたり腕が焼けていたり、少し痛々しい気持ちになりましたがとても満面の笑顔で話されており安心しました。

来月からはとうとう梅雨に入る時期なので、病棟内での色々な活動もして行きたいと思っています。

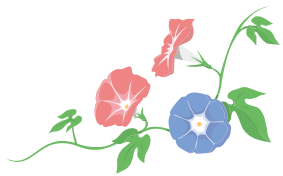


## お料理教室 (認知症治療病棟)

新たにスタッフメンバーも変わり、今年もお料理教室のはじまりです。

五月はこどもの日の節句もあり、こどもにも人気のパンケーキを作りました。みんな頑張ってホットケーキミックス粉を混ぜ混ぜ…。出来たらみんなで試食会。食べる時の嬉しそうな顔をみるとスタッフも嬉しい限りですが、作る過程はすごく危なくて心配でしたが、上手くできました。無事に終わり、良かった、良かった。





# 平成30年度新人紹介



今年度は中途採用者を含む10名の職員が入職致しました。  
職種も看護師、准看護師、介護福祉士、精神保健福祉士、OTと多職種にわたり入職していただきました。  
新人職員の意気込みをご紹介します。



看護師 栗原 絵美

訪問看護で信頼していただける様コミュニケーションを強化していきます。

又、外来の看護師としても業務が円滑に進む様にしていきたいです。



看護師 阿部 豊

次の新入の職員が入ってきてもキチンとした説明が出来るような職員になれる様に、一日でも早く慣れ仕事も覚えていきたいです。



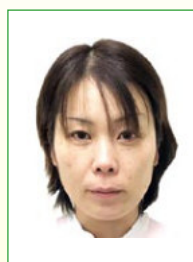
看護師 八木 洋子

他職種スタッフとの連携の大切さも学びました。接遇に関しては言葉遣いなど改めて意識し気をつけたいと思いました。今後の業務も頑張っていこうと思います。



看護師 吉田 千紗

仕事を少しでも早く覚え、自分らしく元気に頑張っていきたいと思います。



介護福祉士 瓜生 麻由美

自分が今まで学んだことを病棟内の仕事に少しでも役に立てる、活かせる様頑張りたいと思います。



ケアスタッフ 吉本 武司

有料老人ホーム、特養での経験を生かした介助サービスが出来ればと思っています。



ケアスタッフ 入江 勇太

新人研修でやはりわからない所などもありましたが、わからない事をそのままにせず、聞いていく事が必要だと思っています。



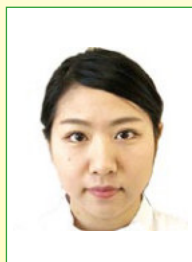
精神保健福祉士 立部 恭幸

ソーシャルワーカーとして組織の潤滑油となるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



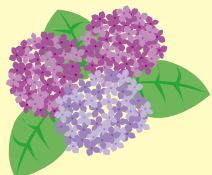
精神保健福祉士 三留 里美

接遇等気をつけながら、焦らず業務に取り組んでいくことができるようにしていきたいと思っています。

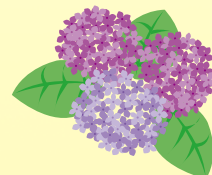


作業療法士 市山 詩苑

患者様や職員の名前を早く覚え、少しでも早く業務に慣れたり、OTとしてスムーズな動きができるよう頑張っていきます。



## 今後の活躍を期待します。



記事 教育研修委員会 看護部長 石田